

令和7年度 東部地区幼・保・小連携推進協議会 実施報告

- 1 期 日 令和7年8月6日（水）
2 会 場 市民プラザかぞ
3 目 的

東部管内において、幼稚園、保育所、認定こども園、小学校及び義務教育学校（前期課程）の教職員による研究協議会等を実施することにより、異校種の教育への理解促進及び異校種との連携意識の高揚を図り、幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続につなげる。

4 内 容

(1) 全体会

- ①【国及び県の関係事業説明】
②【講演】講師 加須市立北川辺幼稚園 園長 柳沢 英毅 様



埼玉県マスコット「コバトン」

(2) 分科会【研究協議】

- ①幼児教育施設と小学校等の教職員が、それぞれの保育・教育への理解を深めるためにどのような工夫が必要か。
②子供の発達や学びの連続性を確保するため、幼児教育施設や小学校等として、これから何に取り組んでいく必要があるのか。
③子供が必要な体験を得られるように指導計画を作成するには、どのような工夫が必要か。

5 参加者 小学校等・幼稚園・保育所・認定こども園・東部管内各市町教育委員会

合計168名

6 参加者の感想

- 幼児教育から学びへの基礎を作ることの大切さ、そして幼保小連携が子供の成長に大きく貢献することを改めて認識しました。
- 架け橋プログラムの具体的な内容や目的を理解し、今後の連携活動に活かしていきたいと思いました。
- 幼稚園では遊びを通して無自覚的な学びが重視される一方、小学校では自覚的な学びが重視されます。この違いを理解することで、小学校での指導に繋げることができると感じました。
- 幼保の先生方から、具体的な取組や思いを聞くことができ、大変参考になりました。また、同じ小学校1年生を担当している先生方や管理職の先生とお話することで、共通の課題や意識を共有できたことは、今後の連携活動を進める上で大きな力になります。
- 様々な校種の先生方と意見交換することで、具体的な案や意見を知ることができ、今後の活動に活かせるヒントが得られました。
- 今後もこのような研修の機会があると大きな学びになると感じました。

全体会の様子



分科会の様子

